

令和7年度テーマ展

知行と禄

Themed Exhibition: Stipends in the Kaga Fiefdom

令和7年 4月26日(土) ~ 令和8年 3月22日(日)

拡大展示期間

令和7年 4月26日(土) ~ 7月6日(日)

月曜(休日の場合はその直後の平日)、年末年始 休館

前田土佐守家資料館

Kanazawa Museum of History and Maeda Tosanokami Family Archives

金沢市片町2-10-17(長町武家屋敷界隈) Tel.076(233)1561

<https://www.kanazawa-museum.jp/maedatosa/> 

開館時間 9時30分~17時(入館は16時30分まで)

観覧料金 一般310円、65歳以上・障害者手帳をお持ちの方
およびその介護人210円(祝日無料)、
高校生以下無料、団体(20名以上)260円

主催: 前田土佐守家資料館(公益財団法人金沢文化振興財団)

協力: 金沢市立玉川図書館近世史料館

後援: 北國新聞社

◆令和7年度テーマ展

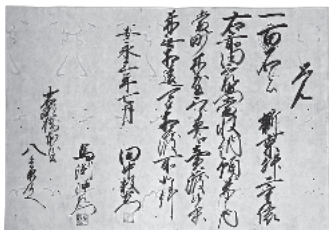
知行と禄

Themed Exhibition: Stipends in the Kaga Fiefdom

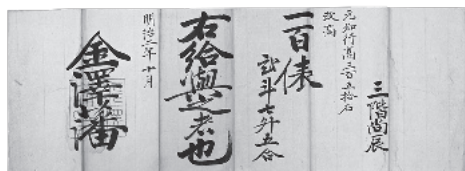
当館の「テーマ展」は、金沢や加賀藩の歴史を毎年異なるテーマで掘り下げる展示です。第1回となる今回は、武士身分の基本である「知行と禄」を取りあげます。

江戸時代の武士は、徳川將軍家を頂点として家臣団を構成し、主人への奉公の対価として「知行」や「禄」を与えられていました。それは彼らの収入源であるとともに、武士身分を規定する要素でもありました。金沢を含む地域では、前田家が加賀・能登・越中の三国を加賀藩として支配し、同じく家臣団を召し抱え、領知を家臣に分配していました。

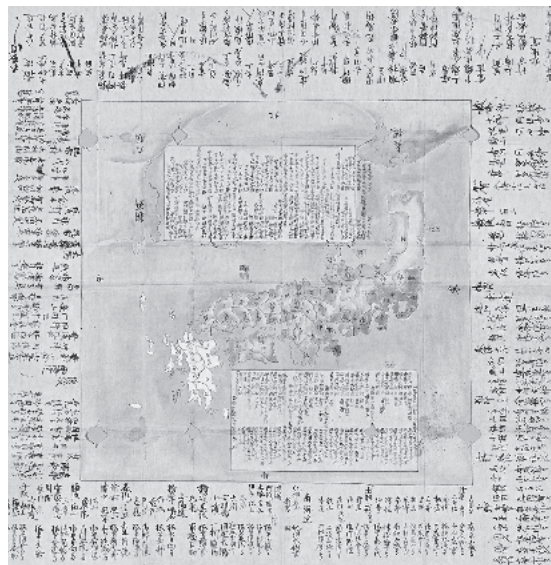
本展では、とくに加賀藩について、「知行と禄」にまつわる制度や史料についてご紹介します。テーマ展を通して、なんとなく知っているつもりで知らなかった、改めて押さえておきたい基本的な事柄について学ぶ場をご提供できればと思います。江戸時代の武士について、また加賀前田家の城下町として栄えた金沢の歴史について、理解を深めていただく機会となれば幸いです。



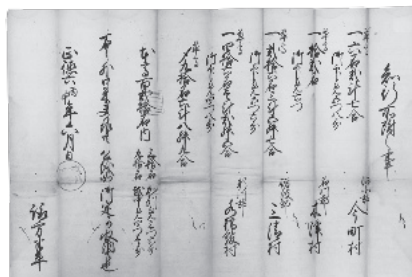
◆前田三左衛門収納預米売渡状(当館蔵)



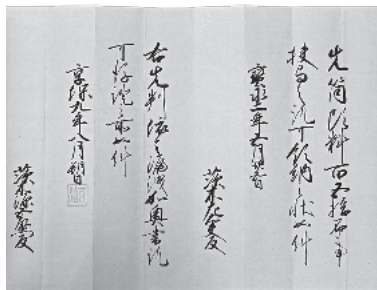
◆金沢藩給与状(金沢市立玉川図書館近世史料館蔵)



◆各藩主領地石高図(当館蔵)



◆知行所附之事(120石)
(金沢市立玉川図書館近世史料館蔵)



◆前田吉治(吉徳)知行宛行状
(金沢市立玉川図書館近世史料館蔵)

【会期中イベント】※詳しくはHPをご覧ください

展示
解説講座

◆展示に関わる歴史講座と列品解説を行います

令和7年 5月17日(土)・6月22日(日)

各日 午前の部:10時~11時 午後の部:13時30分~14時30分

【場所】前田土佐守家資料館 【講師】学芸員 岡野有里香

【定員】25名(事前申し込みが必要、先着順) 【費用】無料(観覧料が必要です)

前田土佐守家資料館 金沢市片町2-10-17
(長町武家屋敷界隈)

Kanazawa Museum of History and Maeda Tosanokami Family Archives

TEL 076(233)1561 FAX 076(261)0806

<https://www.kanazawa-museum.jp/maedatosa/>

開館時間 9時30分~17時(入館は16時30分まで)

月曜(休日の場合はその直後の平日)、年末年始(12月29日~1月3日)休館

観覧料金 一般310円、65歳以上・障害者手帳をお持ちの方およびその介護人210円(祝日無料)、
高校生以下無料、団体(20名以上)260円



金沢ミュージアム+

